

# 企業紹介

高品質・高精度な鋳造部品で  
顧客ニーズに幅広く対応



株式会社 東京ロストワックス工業

代表取締役 早川 元章  
〒940-0006 長岡市東高見1-2-16  
TEL 0258-25-2333 FAX 0258-21-2840  
<http://www.tlw.co.jp>

業 種：精密鋳造業  
資 本 金：3,520万円  
事業内容：ガスタービン、医療用機器、建設機械、  
航空機等向け精密鋳造部品の製造・販売

産業用ガスタービンや医療用機器向けを主力とする精密鋳造部品メーカーである(株)東京ロストワックス工業。近年では、新工場の建設や最新鋭設備の導入により品質管理体制の強化に努め、航空機分野への進出も果たしている。

## 世界を見据えて「東京」を社名に

同社は、ロストワックス法による精密鋳造部品メーカーとして昭和62年に創業。長岡市で生まれた地元企業であるが、創業時から海外との取引を見据え、世界に通用する名前である「東京」を社名に冠している。

同社は、産業用ガスタービンや医療用機器向けの部品を主力に業績を拡大。金型を使わない技術（光造形技術）をロストワックス法に応用するなど、技術力に定評がある。



長岡市高見工業団地にある本社工場

## ロストワックス法

「ロストワックス法」とは、「ろう(ワックス)が溶ける(ロストする)」性質を利用した鋳造法のこと。ろうで製品と同じ形状の模型を作り、その周りを耐火性の強いコーティング材で固める。その後、ろうを熱で溶かし出すことによって鋳型を成形し、その鋳型に金属を流し込んで部品を完成させる。

同製法では、鋳型に流し込む金属素材に制約が無いため、高硬度の材質や粘りのある材質など、機械加工が難しい素材からでも、顧客の要望に沿った多種多様な精密部品を造ることができる。このため、同社が製作している部品の種類は数千点にも及ぶ。



ロストワックス法の工程 (ワックス模型のコーティング～製品完成まで)

- ①コーティング      ②脱型(脱ろう)      ③焼成      ④鋳造      ⑤切断      ⑥製品完成

## 航空機分野に進出

同社は、平成22年に名古屋に本拠を置く鋼材商社「(株)ハヤカワカンパニー」のグループ会社となっている。グループ入りを機に、同社は、そのネットワークを活用して航空機部品の分野に参入している。

品質要求が厳しい航空機産業の基準に対応するため、平成23年に本社工場の敷地内に第2工場を建設して新ラインを増設。同時に社内の検査体制を強化し、昨年6月には、航空機分野の品質管理規格である「JIS Q9100」の認証取得を果たしている。同認証はロストワックス業界では6社目の取得であり、同社では、これを機に航空機部品の生産を一層拡大していきたいとしている。